

バランシエール コンヴェクス S² カーボン
YOSHIDAスペシャルモデル



バランシエール コンヴェクス S² ホワイトセラミック
YOSHIDAスペシャルモデル



バランシエール QM

右：Qualité Musée（カリテ・ミュゼ）の規定に則り、初めて製作された「バランシエール QM」。手巻き、WGケース、径39.6㎜、3気圧防水、パワーリザーブ表示、限定33本。上：「バランシエール コンヴェクス S² カーボン YOSHIDA スペシャルモデル」カーボン×チタンケース、5気圧防水、限定50本。下：「バランシエール コンヴェクス S² ホワイトセラミック YOSHIDA スペシャルモデル」ホワイトセラミックケース、3気圧防水、限定5本。上下ともに手巻き、径41.5㎜。価格はすべて問い合わせを。

カリテ・ミュゼ
Qualité Musée、その手仕上げの極致

写真・岡村昌宏　文・小泉庸子　デザイン・小林泰和

グルーベル・フォルセイは2004年の創業以来、時計の概念を根本から覆す10の重要な発明を発表し、革新性と創造性に満ちた複雑時計を生み出してきた。その独創的な機構に目を奪われがちだが、同メゾンが同じように追求してきたのが、一つひとつのパーツに施す手仕上げである。加工技法そのものを科学的に分析し、進化させてきたのだ。

同メゾンではこれまで、一貫して高品位の手仕上げを施してきたが、その基準には正式な名称がなかった。それを「カリテ・ミュゼ」と名づけ、初めてその名を冠したモデルが、ここで紹介する「バランシエール QM」である。QMとは、美術館品質を意味する「Qualité Musée（カリテ・ミュゼ）」の頭文字から取られている。「バランシエール QM」は298点のパーツから構成されているが、テンプ（6時位置にある環状の部品）を支えるわずか数ミリのステンレススチール製のブリッジには、バレル研磨、斑点仕上げ、サーキュラー仕上げ（円形の装飾研磨）、手仕事による面取りなど、7種類もの仕上げ加工がなされている。さらに驚かされるのは、目に触れるパーツだけでなく、ブリッジの下に隠れるパーツにまで同じ基準の仕上げが施されていることだ。こうした仕上げからもまた、同メゾンの掲げる「アート・オブ・インベンション（発明の芸術）」を存分に味わえるモデルといえよう。

東京・渋谷区幡ヶ谷の老舗時計店『YOSHIDA』が運営する銀座のブティックでは、「バランシエール QM」のほか、「バランシエール コンヴェクス S²」にラインナップする「YOSHIDA スペシャルモデル」もご覧いただける。グルーベル・フォルセイが追求する高級時計製造の現在地を、ぜひその目で確かめてほしい。



トゥールビヨンを中心に時計史に残る10の発明を発表。ブティックのフロアにはこれらの発明を解説する円形の展示が並ぶ。手仕事にこだわり仕上げられた究極の腕時計は芸術作品とも称されている。

INFORMATION
グルーベル・フォルセイ
ブティック 銀座

住所 東京都中央区銀座 4-3-10
電話番号 03-3538-5401
営業時間 10:30～19:30
定休日 火曜（祝日を除く）